

## 第72回えいが部「プロミシング・ヤング・ウーマン」(2021年)

カサンドラ・トーマス（キャシー）は極めて優秀な女性で、誰もが彼女には輝かしい未来が待っていると確信していた。ところが、医学部在籍中、親友のニーナが同級生のアルにレイプされるという事件が発生した。ニーナは周囲に被害を訴えたものの、誰からも信じてもらえなかったことに絶望し、自殺してしまった。この出来事にショックを受けたキャシーは医学部を中退し、それ以来、近所の喫茶店でバリスタとして働いていた。彼女には学生時代の明るさや覇気は最早なく、両親の元で毎日を無為に過ごしているかに見えた。しかし、キャシーの夜の顔は昼のそれとは全く違うものだった。夜になるや、キャシーは復讐の鬼へと変貌し、女性を性欲のはけ口としか思わない男たちに制裁を加えていった。そんなある日、キャシーはかつての同級生（ライアン）と期せずして再会した。これをきっかけに、キャシーは忌まわしき過去を清算する覚悟を決めた。

監督：エメラルド・フェネル

- ・2012 アンナ・カレニナ Anna Karenina          メルカロワ王女
- ・2013 バルカン超特急（英語版）The Lady Vanishes          オデット          テレビ映画
- ・2020 プロミシング・ヤング・ウーマン Promising Young Woman          ビデオ・チュートリアル・ホスト          兼監督・脚本・製作
- ・2023 Barbie          撮影中
- TBA          Ballerina          非出演          脚本、撮影中

製作・主演：キャリー・マリガン

- ・2005 プライドと偏見 Pride & Prejudice          キティ・ベネット
- ・2007 And When Did You Last See Your Father?          レイチェル
- ・2009 パブリック・エネミーズ Public Enemies          キャロル
- ・2010 わたしを離さないで Never Let Me Go          キャシー
- ・2011 ドライブ Drive アイリーン          英国アカデミー賞 助演女優賞ノミネート
- ・2013 華麗なるギャツビー The Great Gatsby          デイジー・ブキャナン
- ・2021 時の面影 The Dig          エディス・プリティ          Netflix にて配信
- ・2023 Maestro Felicia Montelegre          撮影中

アリソン・ブリー

- ・2011 スクリーム4: ネクスト・ジェネレーション Scream 4          レベッカ・ウォルターズ
- ・2014 LEGO ムービーThe Lego Movie          ユニキャット          声の出演
- ・2017 ペンタゴン・ペーパーズ/最高機密文書
- ・2019 天気の子 Weathering With You          須賀夏美 声の出演（英語版）

#### 克蘭シー・ブラウン

- ・ 1986 ハイランダー 悪魔の戦士 Highlander ヴィクター・クルーガー
- ・ 1989 ブルースチール Blue Steel ニック・マン
- ・ 1994 ショーシャンクの空に The Shawshank Redemption バイロン・ハドリー
- ・ 1995 デッドマン・ウォーキング Dead Man Walking 州警察官
- ・ 2010 エルム街の悪夢 A Nightmare on Elm Street アラン・スミス
- ・ 2022 ジョン・ウィック:コンセクエンス John Wick: Chapter 4 ハービンガー

#### ジェニファー・クーリッジ

- ・ 1999 オースティン・パワーズ:デラックス フットボールの試合での女性
- ・ 天国からきたチャンピオン 2002 Down to Earth ミセス・ウェリントン
- ・ 2006 もしも昨日が選べたら Click ジャニー

本作は批評家から絶賛されている。映画批評集積サイトの **Rotten Tomatoes** には 48 件のレビューがあり、批評家支持率は 92%、平均点は 10 点満点で 7.54 点となっている。サイト側による批評家の見解の要約は「大胆不敵かつ啓発的な作品であり、その題材もタイムリーなものである。『プロミシング・ヤング・ウーマン』はエメラルド・フェネルにとって幸先の良い監督デビュー作となり、キャリー・マリガンにとってはキャリアのハイライトとなった」となっている。また、**Metacritic** には 14 件のレビューがあり、加重平均値は 74/100 となっている。なお、本作の **CinemaScore** は B となっている。